

保護者の皆様へ

広島市立祇園中学校
校長 絹谷 徹

全国学力・学習状況調査の結果について

今年度も4月に全国で全国学力・学習状況調査が行われ、結果の集計がまとまりました。今年度はすべての公立小中学校で調査が行われ、「教科に関する調査」（国語A、国語B、数学A、数学B）と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」を実施しました。

教科についての学習状況や、生活や学習についての意識を把握し、今後の指導に生かしたいと思います。保護者の皆様におかれましても、ご家庭でこの調査結果を参考にいただき、本校教育の推進にご協力を賜わりたく存じます。

1. 調査実施学校数（公立学校）等

	調査実施校数（校）			調査実施者数（人）			
	全国	広島県	広島市	全国	広島県	広島市	祇園中
中学校第3学年	10,248	241	64	1,018,365	22,051	8,997	230

2. 調査内容

（1）教科に関する調査（国語、数学）

主として知識に関する問題[A問題]

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◇ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として活用に関する問題[B問題]

- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

- ◇ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

3. 教科に関する調査結果

教科に関する調査は、平均正答率（正答数[割合]÷問題数）で定着の割合を示しています。今回の調査では以下のような調査結果が出ました。この結果をもとに教科指導の工夫・改善を行っていきます。

平均正答率（％）

	国語				数学			
	全国	広島県	広島市	祇園中	全国	広島県	広島市	祇園中
A問題	79.4	80.1	79.0	79.8	67.4	68.4	66.9	65.5
B問題	51.0	50.9	49.8	50.4	59.8	60.5	59.7	58.4

国語のA問題は全国、広島市の平均正答率を上回り、B問題は広島市の平均正答率を上回りました。数学はA問題、B問題とも全国、広島県、広島市の平均正答率を下回りました。

4. 調査結果に基づく今後の取り組み

この全国学力・学習状況調査の結果を受けて、調査の行われた教科の課題を明らかにし、今後の教科指導においてどのようなことを重点的に取り組んでいくかをお知らせいたします。

国語科

<主な課題>

- ◎伝えたい事実や事柄が的確に伝わるように、根拠を明確にして書く力が不十分である。
- ◎複数の資料を比較して読み、要旨をとらえる力がやや弱い。
- ◎語句の意味を適切にとらえることがやや苦手である。

<問題解決に向けた取り組み>

- ①説明する活動を取り入れ、複数の情報の内容を正確にとらえ、相手や目的に応じて取捨選択したり、関係づけたりして説明させる。
- ②複数の資料を効果的に読むために、表題や目次、索引等を活用して資料を選んだり、資料の構成や見出し等の書き方の特徴を踏まえて、情報を探したりするように指導する。
- ③辞書を活用し、多義語については複数の意味や用法の中から文脈に合ったものを選んだり、見出し語にない語句については語句を分けて調べたりするなどの学習活動を行う。

数学科

<主な課題>

- ◎関数の理解が不十分な生徒が多く、対応の表、式、グラフの関係が結びついていない。
- ◎図形で、円柱と円錐の体積の求め方についての理解が不十分である。
- ◎証明や説明などが苦手な生徒が多い。

<問題解決に向けた取り組み>

- ①性質の意味を理解している生徒は多いので、グラフや式、表を関連づけて考えさせるような授業も行う。
- ②体積の公式（求め方）を忘れている生徒が多いと考えられるため、復習を取り入れ定着させていく。
- ③グループワークで問題の意味を確認させ合ったり、考えを説明する場を設定する。